

2022年3月3日

ロシア軍によるウクライナ侵攻に強く抗議します

コープデリ生活協同組合連合会	理事長	土屋 敏夫
生活協同組合コープみらい	理事長	新井ちとせ
いばらきコープ生活協同組合	理事長	鶴長 義二
とちぎコープ生活協同組合	理事長	中田 和良
生活協同組合コープぐんま	理事長	中村 隆夫
生活協同組合コープながの	理事長	太田 栄一
生活協同組合コープにいがた	理事長	長谷川 聡
生活協同組合コープクルコ	理事長	山口 栄

2022年2月24日に開始されたロシア軍によるウクライナへの侵攻は、武力行使を禁止する国連憲章に対する重大な違反であり、コープデリグループはこれを強く非難し、ロシア軍の即時撤退を求めます。

戦争は、そこに暮らす人々の生活や命の安全に対する権利を脅かす行為です。ウクライナでは、ロシアの軍事侵攻によって、子どもを含む多数の一般市民の命が奪われ、住まいを追われ周辺国へ避難せざるを得ないなど、戦火におびえながらの生活を余儀なくされています。

さらに、プーチン大統領が核兵器の使用も辞さないとし唆したことが報じられています。核被爆国である日本において、核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを身をもって体験した被爆者と共に、「核兵器のない社会」の実現に向けて取り組みを続けてきたコープデリグループは、この現状に強い懸念を抱いています。

日本の生協は、日本生協連創立宣言（1951年）で、「平和とよりよい生活のために」を掲げました。コープデリグループも、この言葉に沿って全国の生協とともに長年、平和を希求する取り組みを続けてきています。ロシア軍が一刻も早く撤退するよう、当事国のみならず国際社会が対話と外交による解決に向け最大限努力することを強く望みます。

以上